

1 調査日 平成25年11月6日(水)～8日(金)

2 調査の概要

11月6日(水)

(1) 札幌市 藻岩浄水場(北海道札幌市)

札幌市の水道事業は昭和12年(1937年)に創設され、現在、豊平川、琴似発寒川、星置川の3つの河川を水源として5カ所の浄水場(藻岩、白川、定山溪、西野、宮町)が整備され、いずれの浄水場も急速ろ過方式を採用し、浄水場全体で一日当たり835,200m³の浄水能力を有している。

札幌市では「利用者の視点に立つ」を基本理念とした札幌水道長期構想が策定され「安全で良質な水の確保」、「安定した水の供給」、「利用者に満足される水道」、「健全経営のもと自律した水道」を目標に掲げ、水道事業を運営されるとともに札幌市水道事業5年計画、水道局実施プランを策定して具体的な事業が実施されている。

また、藻岩浄水場は、豊平川表流水を水源とし、昭和12(1937)年の札幌市の水道創設時に建設された、札幌市で最も歴史のある浄水場で、創設時の施設は現在水道記念館として活用されている。また同浄水場では昭和59年から取水場との高低差を利用した水力発電も行なわれており、最大出力400kw(年間発電量約300万kwh)規模の発電がなされている。

本県においても水道ビジョン等を策定し、安全で良質な水を供給するための各種取り組みが行われており、本県の水道事業の参考とするため、札幌市の水道事業や藻岩浄水場の施設および業務の概要等について調査を行った。



11月7日(木)

(2) 北海道 札幌道税事務所(北海道札幌市)

北海道に税務業務については、人口減少や少子高齢化が急速に進み、地域経済や市町村の行財政運営が一段と厳しさを増す中、住民に多様な行政サービスを持続的に提供していくために、広域的な連携を活用した地域づくりを効果的に進めていくことが必要であるとの趣旨で、道、道市長会および道町村会が連携、協働して「広域的な連携を活用した地域づくり促進検討会」が設置され税収確保の強化や税務業務のあり方について検討がなさ



れてきた。

また、自動車税・自動車取得税の課税事務については、これまで道内7カ所の運輸支局所在の総合振興局および札幌道税事務所自動車税部で取り扱われてきたものを、平成24年4月1日から札幌道税事務所自動車税部において取り扱うことになり、自動車2税の課税事務の集約化が図られている。

本県においても、税収確保を図るため、市町との連携・協働など各種取り組みが進められており、本県の税務業務の参考とするため、北海道での税務業務や札幌道税事務所の施設および業務の概要について調査を行った。

(3) 北海道 留萌振興局(北海道留萌市)

北海道では、離島地域を取り巻く環境は、人口の減少、少子・高齢化の進行や地域産業の低迷など、厳しい状況にあることから、これまで進められてきた各種基盤の整備に加え、離島の地理的、自然的特性を生かした施策を進め、地域の創意工夫による自立的発展を促進していくことが求められている。そこで北海道では離島振興計画が策定され離島振興の基本となる方向とその実現に向けての施策を示し、その計画に基づいて各種施策が講じられている。



また、留萌振興局では管内の天売島、焼尻島について天売・焼尻振興計画において「人と自然が共生する地域」を基本目標として、また「自然が育む豊かな地域」、「誰もが生きがいを持ち安心して暮らせる地域」、「安全で魅力的な田舎暮らしができる地域」を3本柱として各種施策が講じられている。

本県においても、本年7月に沖島が離島振興対策実施地域に指定され、現在、離島振興計画の策定に向けて作業が進められていることから、本県の離島振興施策の参考とするため北海道離島振興計画および離島振興施策について調査を行った。

11月8日(金)

(4) 北海道公立大学法人 札幌医科大学(北海道札幌市)

札幌医科大学は、昭和25年(1950年)に開学された医科系総合大学であり、平成19年(2007年)4月1日より道立札幌医科大学から地方独立行政法人である「北海道公立大学法人 札幌医科大学」へと移行された。現在、医学部、保健医療学部の2学部4学科からなり、「人間性豊かな医療人の育成に努めること」、「道民の皆様に対する医療サービスの向上に邁進すること」、「国際的・先進的な研究を進めること」の3つの基本理念のもと、教育・研究・診療の充実と地域医療への貢献に努められている大学である。



札幌医科大学では、附属産学・地域連携センターを設置して、産学の共同研究や大学間の教育・研究交流、地域と連携したフィールドワークの実践など産学の連携や大学と地域との

連携を推進されている。

本県においても、滋賀県立大学において、第2期中期計画に基づき、産官学の連携や地域社会との連携が推進されており、本県における参考とするため札幌医科大学の施設および業務の概要や産学、地域との連携について調査を行った。